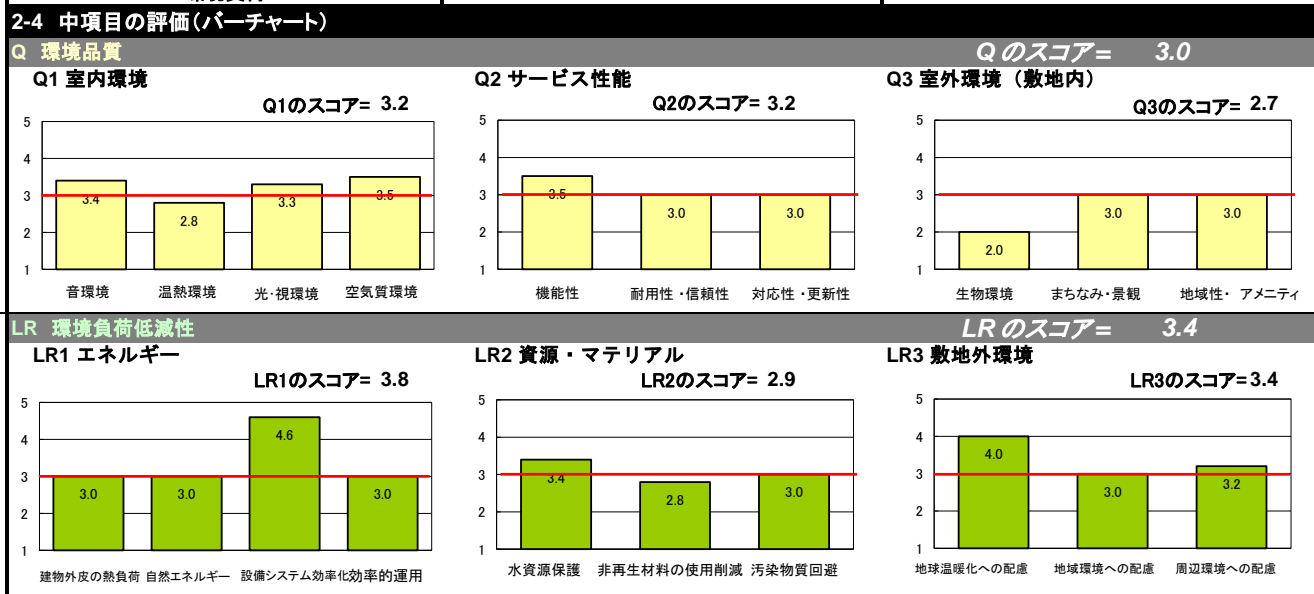
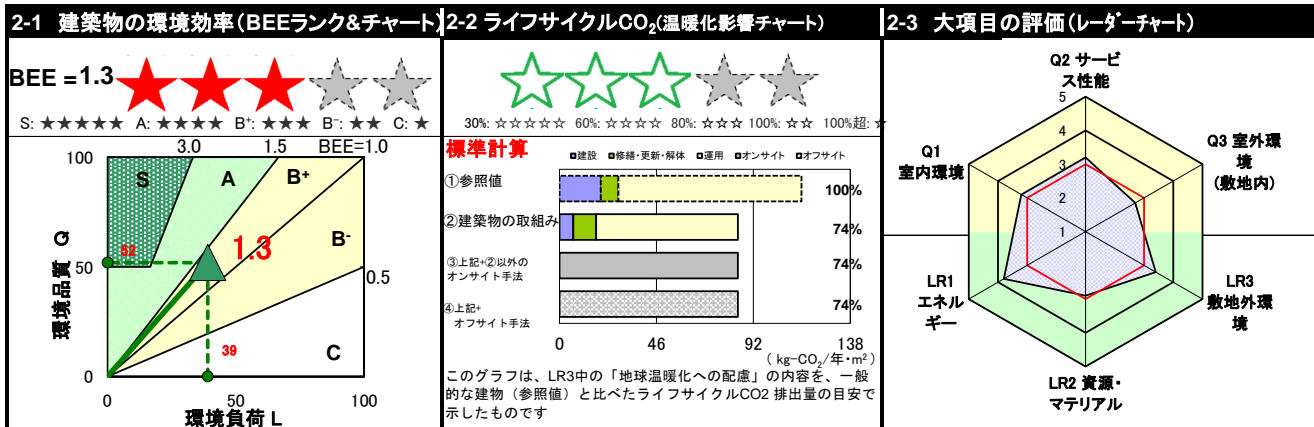


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚市錦町計画	階数	地上11F
建設地	平塚市錦町 13-1,13,17	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年2月20日
敷地面積	585 m ²	作成者	グラビス設計
建築面積	289 m ²	確認日	2019年2月20日
延床面積	2,663 m ²	確認者	グラビス設計

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
周辺の住環境に配慮しながら、環境負荷の軽減に努める		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
防音性能を高め、室内の防音化に努める	バリアフリーに配慮し、建物の使いやすさを高める	敷地内に極力空地を確保し、共用部分にゆとりを持たせる
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
住戸内の断熱性能を高め、建物の省エネルギー化を図る	解体時のリサイクルに配慮し、躯体と仕上材が容易に分別可能な納まりとした。	外部照明の増設に努め、防犯活動に協力する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される